



学校だより

松葉小HP



2月号 No. 10

令和8年1月30日

台東区立松葉小学校

校長 松尾 敦

Tel 3841-2627

松葉小の子供たちに豊かな国語の力を

校長 松尾 敦

1月20日の大寒を過ぎ、最高気温が10℃に届かない日が続いています。一年のうちで最も寒さの厳しい時期を迎えました。最近「JPCZ (Japan-sea Polar air mass Convergence Zone : 日本海寒帯気団収束帯)」という言葉を目にする機会が増えました。これは、長さが1000kmにも及ぶ風のぶつかり合いによって生じる前線のようなもので、日本海上に数日間停滞することがあります。この現象が発生すると、各地で雪や氷による災害が引き起こされることがあるそうです。現在、日本海側をはじめ、全国各地で大雪による被害が報告されています。被災された地域の皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。

さて、小学校の学級担任はすべての教科を指導する免許を所有していますが、私は学生時代から特に国語を専門に研究を続けてきました。現在は、東京都小学校国語教育研究会（通称：都小国）に所属し、常任理事を務めています。今年度、都小国では「他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習～学びを通して身に付けた力を日常生活で生かそうとする～」を研究主題に掲げ、活動を進めています。都小国は、国語教育を専門に研究する東京都内の小学校教員による団体で、「話すこと・聞くこと部」「書くこと部」「読むこと部」「言語部」の4つの部会に分かれ、それぞれのテーマに沿って単元開発や授業研究を行っています。

毎年2月には研究大会を開催し、大会会場校での授業公開と、1年間の研究成果の発表をします。今年度は第36回研究大会の年にあたり、本校が大会会場校の一つとして選ばれました（品川区立大井第一小学校と同日開催）。本校では、1年2組とひまわり学級を除く全学級で授業を公開します。研究大会に向けた授業は、5～6時間の単元構成で行われます。第1時から都小国の部員が松葉小に来校し、各学級担任と連携して授業を進めていきます。教科書に基づく単元もあれば、都小国が独自に開発した単元もあります。松葉小の子供たちにとって、他校の教員との出会いが素敵な学びのきっかけとなることを願っています。

私は大会会場校を引き受けるにあたり、次の2つのことを期待しています。1つめは「松葉小の子供たちの国語の力がさらに高まること」、2つめは「国語を専門とする教員と連携して授業を進めることで、松葉小教員の国語指導力がさらに向上すること」です。そのために、会場校の校長として、また常任理事として、できる限りのことをしていきます。

大会当日は、都内外から国語教育に関心をもつ多くの教員が来校し、授業参観や研究発表に参加します。また、文教大学教授であり、日本国語教育学会理事長の甲斐雄一郎先生による講演も予定されています。運営の都合上、保護者や地域の皆様には授業等をご覧いただくことができませんが、松葉小の子供たちにとって実り多い学びの機会となるよう、全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

